

第 8 回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日 時	平成 28 年 8 月 19 日（金）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場 所	市役所 4 階 庁議室
出席者	坪島委員長、斎藤委員、増永委員、吉澤委員、篠崎総務部長、大島企画部長、徳田産業スポーツ部参事（芸術文化スポーツ担当）
議 題	日野市民プール応募事業者によるプレゼンテーション 1.本日の流れ、審査手順説明 2.審査 1（日野市民プール：シンコースポーツ 株式会社） 3.審査 2（日野市民プール：B 社） 4.前回採点結果報告、次回の説明
議題 1	● 本日の流れ説明、審査手順の説明 事務局（企画経営課）より説明。 （1）日野市民プールの指定管理者応募事業者のプレゼンテーション ・指定管理者応募事業者（シンコースポーツ株式会社及び B 社）による説明 20 分 ・指定管理者応募事業者及び主管課（文化スポーツ課）への質疑 20 分 ・採点 10 分 （2）選定結果及び決定について ・次回報告する
議題 2	● 審査 1（市民プール：シンコースポーツ 株式会社） 事業計画書に基づくプレゼンテーション ＝主な質疑＝ （質問）プール利用人数と年間経費から計算すると、一人あたり 1,000 円かかっている計算になる。専門業者からみて、他市施設との比較で高いのか安いのか。市場価格からみて減らせる可能性があるのか。 （回答）プールの形状によっても違いがでてくる。利用料金について言えば、受益者負担の観点からみると安価と判断できるが、地域の方向性や実態で決まるものなので業者として言うことではないと考えている。 1 人あたりのコストを算出している事例は少ないが、自主事業など収益を上げることで市の負担は減ってくると思っている。 プールに係る費用は経年劣化や修繕で変化してくるため、市の負担部分である、収支に対しての指定管理料の金額を判断するのが、今の制度上妥当だと思う。 安全に対するコストはこれ以上減らせないので、現指定管理者としては収益を上げることで指定管理料を減らしていくという方針である。 （質問）実績では光熱水費が削減されたと言っているが、今後 5 年間の収支計画の中に、

	光熱水費の削減部分が支出に反映されていないのではないか。また、利用者の増加を見込んでいるが、増加分が収入に計上されていないのではないか。 (回答) 今回、収支計画を消費税率 10%で作成することと指定があったので、支出増加分 4.4%のうち 2%は税額の影響分である。光熱水費は単価変動を考慮し、過去の平均を参考値として見込んでいる。5 年間でみると削減されている。 収入について、自主事業は独立採算で実施しており、予算も独自の財源で独自の事業を実施している。申請書は指定管理業務に係わる範囲で数値を算出しているので、収入額は指定管理業務に係わる利用料金の額を算出している。 (質問) プールは安全が重視される施設である。長い期間施設管理をしていると、慣れや気持ちの緩みが生じてくるが、緊張感を保つ対策は何かあるのか。 (回答) 新担当者、職員の配置転換を行い、新たな視点を導入することでアイデア、サービスを展開していく。事業者としてスキル・能力を維持継続しながら、モチベーションを維持し、新たなサービスを展開していく。 (質問) イベント、自主事業実施時、全社的に万全な態勢で実施していただきたい。 自主事業について予算 100 万円ほど見込んでいるが過去の実績はどうか。 (回答) 明日、イベントがあり、雨天という天気予報もでていますが、担当者以外に社員がスタッフとして入り運営を行う。自主事業は天候にも左右されるが平成 27 年度約 52 万円支出している。 (質問) 障害者対象の教室は年何回実施しているのか。また、障害者、高齢者利用時の対応はどうしているのか。暑さ対策や日陰が少ないといった声がある。 (回答) 新たな提案のため、過去、教室としては実施していない。通常利用の場合、監視員がどのようなサポートが必要か個別に声をかけて対応している。施設としてはプールサイドまで行ける車椅子の案内、更衣の手伝いなどの対応をしている。暑さ対策として日陰を作っているが、来年度は冷風機を設置予定である。 (意見) 雷発生時などに退避場所を検討して欲しい。 (質問) 夏季期間外の活用方法でウォーキングの休憩所と提案があるが、収支計画の中で経費の裏付けがないと、実現できないのではないか。 (回答) ウォーキング支援は収支計画に含めている。人員を配置すると、費用対効果が懸念される。利用者負担やどこまでニーズがあるか実施してみないとわからないところがある。現在、期間外に管理業務として行っている施設巡回日を活用して、ニーズを図りながら、物販を行うところまで段階的に実施していきたい。 (質問) 支出の中で、平成 27 年度に PPS を導入した結果、電気料が下がっているのではないか。電気料削減分は指定管理料の低減や、他の支出項目を増やせないかなど検討してもらいたい。 (回答) 消費税率変更や契約状況の変更もあり、今回、5 年分の収支計画を提出している。状況に応じ相談を受けながら指定管理料を決定していきたい。
--	--

● 審査 2 (市民プール : B 社)

事業計画書に基づくプレゼンテーション

＝主な質疑＝

(質問) 提案の事業計画書にある川辺堀之内祭りとの連携について、どのようなことを考えているのか。プール施設の利用や人員の配置も行うのか。

(回答) お祭り当日限りのイベントではなく、継続的な交流ができるよう、プール施設を利用した体操、レクリエーションなど、集まった地域の人たちが自立し継続してやっていけるような関係づくりをしていく。まちづくりを進めている中で、プール施設、地区センターなど地域の施設も活用し、取組みが地域に定着するよう人員配置も行う。

(質問) 今回の提案は、他の施設のプールの管理実績を踏まえ、他事業と連携して顔が見えて連携できるプールを目指すということで良いか。他事業者と比較して、サービス、コスト面など、提案事業者としてここが優れているという点を知りたい。

(回答) 目指す点は質問の通りである。提案者として、安全管理を行うことを当然の大前提として、管理者の監視だけでなく、利用者自らプールや川などに行ったときにも楽しめるよう安全意識を高めること、利用者との交流、プールをまちづくりの施設として位置付けていくことを提案する。

(意見) 他の施設の屋内プールの実績はあるが、同じような運用は、屋外プールである市民プールでは難しいのではないかと感じた。市民プールの活用方法について見えづらい部分があった。

(質問) 屋内プールについて、監視員より、利用・行動を制限されるというような話を聞いたが、どうなのか。

(回答) 監視員としては安全上注意しなければならないこともある。利用者に安全意識をどのように持ってもらい、安全に結びつけるかということである。笛を吹いて注意して終わりではなく、直接利用者の近くで監視員とコミュニケーションを密にとることが大切である。

(質問) 収支計画書の光熱水費コストの見方が違っているのではないか。平成 27 年度と比較して高すぎるのではないか。後で算出数値方法を確認して欲しい。

(回答) 確認する。以前の市民プール管理から離れて 10 年以上たっているが、当時従事していた職員もいるため、引継いでいける。今であれば人材育成も行えるので、再度 5 年、10 年経過した後よりは、今回管理を行いたいと思い申請した。

(質問) 屋内プールのある施設はコミュニティ施設だが、市民プールは体育施設である。市では、スポーツ推進計画も策定したところであり、計画を踏まえた施設の在り方、考え方について何かあるか。

(回答) きちんと読み取っていない所がある。これから勉強させていただきたい。

(質問) 現在、B 社で管理しているプールは 2 箇所で良いのか。

議題 3	また、かつて、埼玉県でプール事故があったが、最近の事故事例を踏まえて管理プールにどのように反映させるのか。 (回答) 現在管理している施設は、その 2 施設です。 また、最新の事故事例については、講習会等に出席して把握している。監視体制が整っているプールでも事故が起きており、事例・対応を従業員に徹底し研修を行っている。 ● 前回採点結果報告、次回の説明 事務局（企画経営課）より説明。 ・ 前回の採点表の集計表（日野市立交流センター）を事務局から配布した。 ・ 次回選定委員会について 日時 平成 28 年 8 月 24 日（水）13:30 から 場所 市役所 4 階 庁議室 次回に向けたお願い ～第 8 回日野市指定管理者候補者選定委員会（日野市民プール）終了～
-------------	--